

# 2005(平成17)年度 日本語教育学会秋季大会

主催:(社)日本語教育学会 / 共催 金沢大学

後援:(財)国際文化フォーラム・石川県・金沢市

開催日:2005年10月8日(土),9日(日) / 場所 金沢大学(石川県金沢市角間町)

緊急連絡先(当日限り) 090-1999-3315 / 予稿集(参加費) 3,000円 / 懇親会費 3,000円

## 第1日) 10月8日(土) 金沢大学 総合教育棟 大会会館

評議員懇談会	3階 B4 講義室	10:00 ~ 12:00
--------	-----------	---------------

開会式	2階 A1 講義室	13:30 ~ 13:45
-----	-----------	---------------

司会 川口 義一 (大会委員長)  
 会長 挨拶 杉戸 清樹 (日本語教育学会会長)  
 開催校挨拶 林 勇二郎氏(金沢大学学長)

シンポジウム	2階 A1 講義室	13:45 ~ 17:00
--------	-----------	---------------

言語能力を多角的に評価する 測る」視点から「とらえる」視点へ  
 司会: 日比谷潤子氏(国際基督教大学)

### 第1部 話題提供

- 1 パフォーマンス評価 口頭能力をどうとらえるか  
お茶の水女子大学 教授 庄司恵雄氏

---

- 2 パフォーマンス評価 記述能力をどうとらえるか  
電気通信大学 助教授 田中真理氏

---

- 3 ポートフォリオ評価 学習活動をどうとらえるか  
明星大学 John Ingulsrud氏

---

- 4 バンドスケール評価 行動から言語能力をどうとらえるか  
早稲田大学 教授 川上郁雄氏

### 第2部 質疑応答・ディスカッション

日本語教育において、学習者自身も教師も学習の過程の中でさまざまな判断をする際に評価をすることは避けておれません。話したり書いたりする技能や、プロジェクトワークのような活動は、学習者の日々の行動の観察や実際にパフォーマンスを調べることを通して測ることになります。その達成度や能力を動的に「とらえる」という視点から再考してみることにしました。

評価の方法が適切であるかどうかは、評価の結果に影響するだけでなく、学習者のその後の学習や態度にも波及効果を及ぼす重要なものです。シンポジウムでは学習者にとってさらに有益な評価にしていくための方策を探っていきたいと思います。

<企画・運営担当大会委員> 助川泰彦, 日比谷潤子, 村上京子

懇親会	大会会館	17:30 ~ 19:30
-----	------	---------------

## 第2日) 10月9日(日) 金沢大学 総合教育棟

口頭発表	2階 A1 3階 B1,B3,B4,B10	10:20 ~ 16:05
------	-----------------------	---------------

ポスター発表	3階 B5,B6,B7,B8,B9	13:00 ~ 15:00
--------	-------------------	---------------

パネルセッション	4階 C1	10:00 ~ 12:00
----------	-------	---------------

デモンストレーション	4階 C1,C2,C3,C4	13:00 ~ 15:00
------------	----------------	---------------

## 【口頭発表】

### 《第1会場》(2階 A1 講義室)

- 10:20 ~ 10:50 異文化理解に重点をおいた日本語教育に果たすALPLPの役割  
オーストラリアにおける言語教育の実践  
Cathy Jonak(国際交流基金シドニー日本文化センター)
- 10:55 ~ 11:25 コピキタスラーニングシステムの日本語教育への応用とその検討  
PDA活用により日本語教育の場を教室から徳島の町へ  
大石寧子(徳島大学), 上田崇仁(同)
- 11:30 ~ 12:00 【海外調査報告】非母語話者日本語教員による日本語口頭能力の判定  
庄司恵雄(お茶の水女子大学), 野口裕之(名古屋大学),  
迫田久美子(広島大学), 金澤真智子(大阪外国語大学大学院生),  
青山眞子(国際交流基金), 和田晃子(早稲田大学大学院生)
- 13:30 ~ 14:00 アメリカにおけるTAの実践能力に対する意識とその変容  
高宮優実(パデュー大学大学院生), 高木裕子(実践女子大学)
- 14:05 ~ 14:35 地域における共通言語学習支援プログラム  
足立祐子(新潟大学), 松岡洋子(岩手大学)
- 15:00 ~ 15:30 大学教員が求める情報リテラシーと留学生の有する  
情報リテラシーの重なりとズレ  
濱田美和(富山大学), 深澤のぞみ(同)

### 《第2会場》(3階 B1 講義室)

- 10:20 ~ 10:50 初中級から中級にかけての日本語学習者の視点表現の習得状況  
漫画のナレーションと作文を使用して  
木村愛子(南山大学大学院生)
- 10:55 ~ 11:25 構想を手助けする「アイディアシート」の開発  
ブレンストーミングからアウトライン・文章構成につなげるために  
吉田美登利(学習院大学大学院生)
- 11:30 ~ 12:00 理系日本語論文結論部の構成と表現  
日本語教育での論文作成支援を考える新たな視点から  
村岡貴子(大阪大学), 米田由喜代(同), 因京子(九州大学),  
仁科喜久子(東京工業大学), 深尾百合子(東京農工大学),  
大谷晋也(大阪大学)
- 13:30 ~ 14:00 韓国人学習者の漢語系形容動詞の習得に関する研究  
中国人学習者との比較を中心に  
梁賢俊(東北大学大学院生)
- 14:05 ~ 14:35 台湾人日本語学習者における日本語聴解の単語の認知  
同根語 非同根語 ひらがな単語 カタカナ単語の比較  
邱 俞? (広島大学大学院生)
- 15:00 ~ 15:30 自然な環境での日本語習得に影響を与える要因について  
松浦恵子(東京経営短期大学)

第3会場》(3階 B3講義室)

- 10:20～10:50 日本語非母語話者の大学生のスピーチにおけるリペアの分析  
**富谷玲子**(神奈川大学)
- 10:55～11:25 韓国人日本語学習者のスピーチスタイルシフトの習得  
時間軸に沿ったスタイルの変化に着目して  
**申 媛善**(筑波大学大学院生)
- 11:30～12:00 強調表現を伴うリキャストに関する考察  
明示的フィードバックとしての提案  
**川崎直子**(三重大学)
- 13:30～14:00 日韓の「ほめ」における男女差  
**金 庚芬**(桜美林大学大学院生)
- 14:05～14:35 中国人日本語学習者のあいづち使用について  
中国と日本における中級レベルの学習者の比較から  
**熊 紅芝**(名古屋外国語大学大学院生)
- 15:00～15:30 韓国人日本語学習者の破裂音習得  
知覚と生成のメカニズム  
**福岡昌子**(三重大学)

第4会場》(3階 B4講義室)

- 10:20～10:50 言語技術の習得を軸にした内容重視のアプローチによる日本語指導  
小学校国語科における説明的文章の読解及び作文を通して  
**逢坂 隆**(東京学芸大学大学院生)
- 10:55～11:25 外国人児童の教科学習のための日本語指導項目調査  
**横田淳子**(東京外国語大学) , **小林幸江**(同)
- 11:30～12:00 中国の作文教育を受けたJSL児童生徒への“書くこと”の指導  
**大上忠幸**(東京学芸大学大学院生)
- 13:30～14:00 就学前段階の外国人児童に対する日本語教育の現状  
**栃原玲子**(園田学園女子大学)
- 14:05～14:35 第2言語としての日本語読解における語彙知識と  
テキスト理解の関係  
**松本順子**(神田外語大学) , **堀場裕紀江**(同) ,  
**小林ひとみ**(ヒューマンアカデミー) , **鈴木秀明**(神田外語大学)
- 15:00～15:30 日本語教育振興会編纂 南方地域用日本語教科書の構成  
**中川裕子**(同志社女子大学)
- 15:35～16:05 新たな「公共性」と日本語教育  
「バフチンの「言語」と文化」を手がかりに  
**木村哲也**(杏林大学)

第5会場》(3階 B10 師範室)

- 10:20 ~ 10:50 日本語教科書の地の文に埋もれている「だけだ」が示唆すること  
文法項目」としての「だけ」から「とりたて助詞のプラグマティクス」へ  
**中西久実子**(京都外国語大学)
- 10:55 ~ 11:25 「から」と「ので」の使い分けに関する考察  
ロシア語を母語とする上級レベル日本語学習者文法の観点から  
**Marina Sereda**(大阪外国語大学大学院生)
- 11:30 ~ 12:00 高齢者が餅をのどにつまらせた 自動詞の使役と自他の対応  
**鈴木容子**(広島大学大学院生)
- 13:30 ~ 14:00 テ形接続に見られる誤用について 継起と因果の意味決定とは?  
**永 尚**(園田学園女子大学)
- 14:05 ~ 14:35 日本語の「～てあげる・くれる」と韓国語の  
「-e cwu- (～テアゲル・クレル)」の意味機能  
**韓 京娥**(東京大学大学院生)
- 15:00 ~ 15:30 日本語条件表現が表す発話意図  
教室指導における場面提示を目指して  
**堀 恵子**(麗澤大学)

【ポスター発表】 13:00 ~ 15:00

第1会場》(3階 B6 講義室)

論文作成を目指す留学生のための上級アカデミックライティング  
専門分野の違いを肯定的に捉える」という視点  
**増田真理子**(東京大学), **二通信子**(同), **菊地康人**(同)

第2会場》(3階 B7 講義室)

3モード編成による活動志向のアカデミックコースデザイン  
学習者の多様な背景, ニーズに応えるために  
**今井寿枝**(独立行政法人国際交流基金関西国際センター),  
**品川直美**(同), **浜田盛男**(同), **矢沢理子**(同)

第3会場》(3階 B8 講義室)

日本語指導におけるシャドーイングの基礎的研究(2)  
音読練習との比較調査からわかること  
**迫田久美子**(広島大学), **松見法男**(同)

第4会場》(3階 B9 講義室)

日本語学習者のためのアカデミックプレゼンテーション  
入門教科書の研究開発  
**三浦香苗**(金沢大学), **深澤のぞみ**(富山大学),  
**ヒルマン小林恭子**(サイモンフレーザー大学)

《第 5会場》(3階 B 5 講義室)

日本語学習者の誤用に基づいたアジア諸言語の対照研究とその応用  
対訳付き日本語作文データベースに基づく名詞修飾表現の分析

松田真希子(長岡技術科学大学), 森 篤嗣(実践女子大学),  
後藤寛樹(富山大学), 金村久美(名古屋大学大学院)

【パネルセッション】 10:00 ~ 12:00

《会場》(4階 C 1 講義室)

アカデミック・ジャパニーズをデザインする  
予備教育、大学日本語教育、大学表現教育、国語教育の現場から

門倉正美(横浜国立大学), 嶋田和子(イーストウエスト日本語学校),  
堀井恵子(武蔵野大学), 三宅和子(東洋大学), 中村敦雄(群馬大学)

【デモンストレーション】 13:00 ~ 15:00

《第 1会場》(4階 C 1 講義室)

異文化にアプローチするためのビデオ総合教材  
研究開発とJSL・JFLを通じたの試み

今井 武(財)石川県国際交流協会), 村上好江(石川県日本語講師会),  
山本雅枝(同), 川田啓子(同), 谷口亮子(同)

《第 2会場》(4階 C 2 講義室)

「テレビ会議で行う異文化ディスカッションの方法」Web用試作版教材公開  
太田 亨(金沢大学), 三浦香苗(同)

《第 3会場》(4階 C 3 講義室)

J-CAT (Japanese computerized adaptive test)

今井新悟(山口大学), 秋山 實(e-ラーニングサービス)

《第 4会場》(4階 C 4 講義室)

入門レベルの日本語学習サイト開発 Naganuma e-School

鈴木潤吉(言語文化研究所), 岩田之男(同), 藤本かおる(同)